

## 平成 27 年度 産産・産学連携共同研究活動奨励事業 採択案件一覧

No.	提案者	事業名称	内容
1	会川鉄工株式会社	いわきロボット研究会	本研究会では、今後成長が見込まれるロボット産業分野において、いわき及び県内外の産学官の様々な主体が参加するネットワークの形成を図り、そのネットワークの力を結集することでロボット技術に係る研究開発や技術開発を推進し、いわき及び県内外での新事業や新産業の創出・育成を目指すことを目的とする。
2	株式会社いわきテレワークセンター	いわきブランド米「神谷米」を活用した6次化産品創出研究会	いわき市神谷地区で収穫されるお米を「神谷米」としてブランド化を図り、県内外に通用する優位性を確立することにより、米余りの解消ほか、米農家の継続的な営農を後押しすることに繋がり、ひいては次世代を担う農家の発掘・育成にも寄与することを目的とする。
3	株式会社いわき福島復興オフィス	いわき市医食農連携研究会	いわき市産機能性農作物の需要拡大と市民の健康意識向上に寄与すべく、機能性農作物のいわき市での栽培と加工品製造の基礎となる開発研究を目的とする。
4	NPO 法人いわき情報技術研究会	ロボット教育人材育成のための調査事業	いわき地域において、いくつかの塾などの事業体が児童生徒にアルゴリズム教育の主要な1つであるロボット教育の実施、または計画をしている。ロボット教育について人材育成の面から、教材作成や指導講師の育成を目指す。今年度は多面的観点から調査を行う。
5	地中熱エネルギー研究会	新構造水平方式地中熱交換量の研究	地中への熱エネルギーの放熱・採熱方法として、水平方式がある。水平方式は深さ1.5m程度の掘削で済むので、大型重機を必要としないため、掘削費があまりかからないという大きな利点がある。このため、地中熱事業として、新規参入しやすい。地中への熱エネルギーの放熱・採熱方法に関し、実機大水平方式地中熱熱源設備を作り、熱応答試験を行って、熱源設備単体としての地中との熱交換量を研究する。この研究により、経済的合理性のある地中熱熱源設備製作技術の基礎を作る。